



発行 / ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDXビル7F ホームページ <https://wnj.gr.jp/>
発行日 / 2022年5月 発行責任者 / 藤井恵里 TEL 03-3205-0003 FAX 03-3205-3111 Eメール wnj_office@wnj.gr.jp

そんな働き方つてあるの？

“仕事内容から就労時間、報酬まで、働き方を自分で決められる”

生活クラブ生協 青森 ワーカーズ・コレクティブ学習会

オンライン開催ということもあり、“仕事内容から就労時間、報酬、働き方を自分で決められる”そのような働き方に興味を持った子育て世代の参加が多くありました。

次なる夢を膨らませて

参加者からは「地域との繋がりを大切にし、自分の強みを活かし、同じ思いを持った人達と一緒に作り上げることに興味を持った」「これからはワーカーズのような生活に根ざした相互扶助的な働き方が大切になると思う」「自分たちの暮らしをいかに良くしていけるかを受け身でなく、作り上げようと行動していることが印象的だった」という感想が寄せられました。

多様な業種のワーカーズ紹介もあり、ワーカーズの若手メンバーは具体的にイメージを持つことで、次なる事業への夢を膨らませることができました。

連携協力して発展を

青森で唯一のワーカーズ・コレクティブ『B・すけっと』は、何でもみんなで話し合い決めることを実践しています。組合員目線で物事を



ワーカーズ・コレクティブ『B・すけっと』



個別配達業務を担って6年になります。



考え方対応する配達に、個組合員の信頼も厚いです。

最近40代のメンバーも増え、新たな事業への構想も会議の話題に上るようになり今後の発展が楽しみです。

以前、青森にはもうひとつ 2002 年に誕生した『ワーカーズ・コレクティブ あべる』がありました。業務委託事業から始まり、掃除事業、家事支援、居場所のような食堂と業務を展開しましたが、メンバーの高齢化を理由に 2015 年に解散しました。当時は、次の世代に引き継いでいけるよう支援ができなかったことが悔やまれました。このような後悔がないよう、単協として組合員や地域にワーカーズ・コレクティブを広め、協力連携していくことで共に発展していきたいと考えます。

(生活クラブ青森 理事長 棟方千恵子)

労働契約を結ぶってどういうこと？

特定社会保険労務士 細越雄二 さんによる学習会を開催

昨年、東京で開催したワーカーズ・コレクティブ研究会による「労働者協同組合運営の具体的な労働契約について」の学習会は、とても好評だったとの報告があったことから、WNJでもワーカーズ・コレクティブふろぼの工房に学習会の企画を委託し、4月20日にオンライン併用で開催しました。

働く人全員が経営者であり労働者であるワーカーズ・コレクティブでは、雇用主に雇われる形で労働契約を結ぶことになじみがありません。昨年10月の調査では、労働者協同組合の法人格を新規に取得または移行する計画のワーカーズは51団体ありました。法人格を取るために労務の知識は必要ですし、法人化を選択しないにしろ知っておくことは大事です。

参加者は180人を超え、全国各地から参加がありました。主な内容は、労働契約を結ぶ際には労働条件の書面での明示義務があること、就業規則を作る際の留意事項、36協定の届け出の必要性などでした。ワーカーズ・コレクティブであるがゆえの独自性についての留意点もお話しいただきました。



細越雄二さん

その後の質疑では具体的な質問が多く挙がり、一般の企業よりはるかに柔軟なルールを就業規則に落とし込む難しさを感じされました。講師にはたくさんの質問に丁寧にご回答いただき、ひとまずは解決されましたが、実際の場面では専門家の助言が必要になることでしょう。今後も、皆さんの必要な声に応じて企画していきたいと思います。

労働者協同組合に対して知識と理解のある社会保険労務士の数は残念ながらまだ多いとは言えないそうですが、各地域で社労士さんとのつながりを作り、お互いに理解し合い、協同労働の賛同者を増やすことも大事だと思いました。

(WNJ運営委員 小泉 佐栄)

東京ワーカーズの新たな仲間 「アソシエーションだるま舎」

東京に協同組合実践者・研究者・社会的活動実践をされている方々がメンバーとして集った新ワーカーズ誕生！

● 主たる事業の柱は出版

だるま舎は、「本やブックレットの企画、編集、組版、校正、デザイン、そして販売」「研究会の企画・開催、関係イベントの開催、講師派遣」これらの事業を通して、社会的協同組合、一般協同組合、アソシエーションの実現をめざすこと。同様にアソシエーションの創設をめざす人々に役立つ出版、研究、啓発活動をおこなう。また同様の活動をすすめる個人、団体との連携、プラットフォームの形成をすすめ、これらを通じてアソシエーション、コモン、協同組合地域社会の実現をめざすこと。とっています。

総会は上記「協同組合、コモン、アソシエーション、プラットフォーム…」などの言葉が飛び交う楽しく嬉しい場となりました。

● あり方を施行錯誤してみる

「アソシエーションだるま舎」副代表平山昇さんは「私たちの定款の要諦は、代表の選出は『くじ引き』でおこなうこと、メンバー数は3人以上10人を原則とし、これを超える時は次の『アソシエーション』にして、それらをつなぐ『プラットフォーム』を作ることの3点にあ



10月16日 設立総会

「くじ引き」!
代表選出はなんと

各人の持てる強みをワーカーズ・コレクティブ事業の中で發揮し、協同組合地域社会づくりを進めよう！という熱い思いが設立総会の中から伝わってきました。

ります。アソシエーションとアソシエーションをつなぐプラットフォームとは何か！が議論になりましたが、要はピラミッド型（上意下達、伝導ベルト論、民主集中制、全国連合会型）ではない組織と運営の在り方をどう作るのかという問題で、それを試行錯誤してみようということです」と言われました。

「くじ引き」については斎藤幸平著「人新世の資本論」の中で紹介されているフランス市民議会の新たな民主主義のあり方の取り組みでもあるとの指摘もありました。

● 影響を与える実践に期待

現状のワーカーズ・コレクティブの課題である組織運営に関わる民主主義のあり方、協同労働のあり方、リーダー論のあり方にも大きく影響を与える実践として、連携して共に先をめざしたいと思います。

（東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 和田安希代）



～みんなで地域をつくる協同労働の輪～ 「コミュニティの元気をうみ出す新しい働きかた」企画を開催

生活クラブ運動グループ東村山地域協議会と、ワーカーズコープ東京三多摩山梨事業本部で「協同労働を広げよう実行委員会」を立ち上げ、労働者協同組合法の理解と協同労働を地域に広げ、地域づくりのきっかけにすることを目的とした集会を、3月13日にオンラインで開催しました。まずは自分たちワーカーズメンバーに協同労働への理解を深めてもらい、日々の働きがどこにつながっているのかを考えることも重要な取り組みでした。

最初に、WNJ 監事の小柳智恵さんにこの法律の概要や、法制化に至るまでの苦難の経緯、法の目的や特徴、展望を語っていただきました。そして、東村山市内で協同労働で事業を展開している様々な職種の団体のメンバーが団体紹介と実践報告を語る形で登場しました。ワーカーズ・コレクティブとワーカーズコープで13団体に上ります。

その後「協同労働のこれからに期待すること」と題し、アソシエーションだるま舎の柳沢敏勝 明治大学名誉教授に講演をしていただきました。

持続可能な地域社会づくりには、社会的連帯経済の核となる協同労働が「地域の課題解決の役割を担う存在」とエールを送っていました。また世界的にも日本の動きは遅れており、社会的認知度を上げるために「見える化」をすすめ、団体どおしのつながりを作っていくことが必要と指摘され、そのためにも生協陣営の経済的な支援が必要とお話しいただきました。

参加者からは「労協法について理解が深まった」「市内にこんなにたくさんの事業があることに驚いた」などの感想が寄せられました。

（協同労働を広げよう実行委員会 朝倉順子）

Information

冊子販売のお知らせ 労働者協同組合法をやさしく解説！



ご希望の方は、info@wnj.gr.jpへメールでお申込みください。

編集：ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパン

発行：一般社団法人 市民セクター政策機構

A5判 64頁 頒価500円（税込）

WNJではワーカーズ・コレクティブの設立支援のほか伴走支援、そのほか各種講座の講師派遣を行なっています。詳しくはWNJホームページ (<https://wnj.gr.jp/>) をご覧ください。